



「電気こどもシリーズ ちゅうでん壁新聞」は、次代を担う子どもたちに、エネルギー・科学などに興味をもち、「学ぶ楽しさ」を知ってもらうことを目的に、1951年の会社創立以来発行している小学校壁新聞です。



発行
中部電力株式会社
〒461-8680 名古屋市東区東新町1番地
担当: 山本
Tel: 052-973-2132

中部電力

1 学生服はどう変わってきたの?

学生服が初めて取り入れられたのは、明治時代の初め(1870年代)だよ。最初は、当時、身分の高かった皇族や華族の人たちが通う一部の学校だけだったけれど、学生服を取り入れる学校がどんどん増えていったよ。はじまりから現在までの変化を見てみよう!



男子用の
つめえり
が登場

学習院という学校で、つめえり(別名:学ラン)を取り入れられたよ。ヨーロッパの軍人が着ていた軍服をイメージしたデザインだよ。



明治中期
～大正

女子学生が
はかま
を着用

普段から着物で生活していたけれど、動きやすさを考えて、ロングスカートに似たはかまを着物の上から着たよ。



大正

女子用の
セーラー服
が登場

イギリス海軍の制服を元にしたセーラー服を取り入れる学校が出てきたよ。ワンピース型や、今のような上着とスカートが分かれているタイプがあったよ。



昭和(戦争中)

いちじじでさ
一時的に
国民服になる

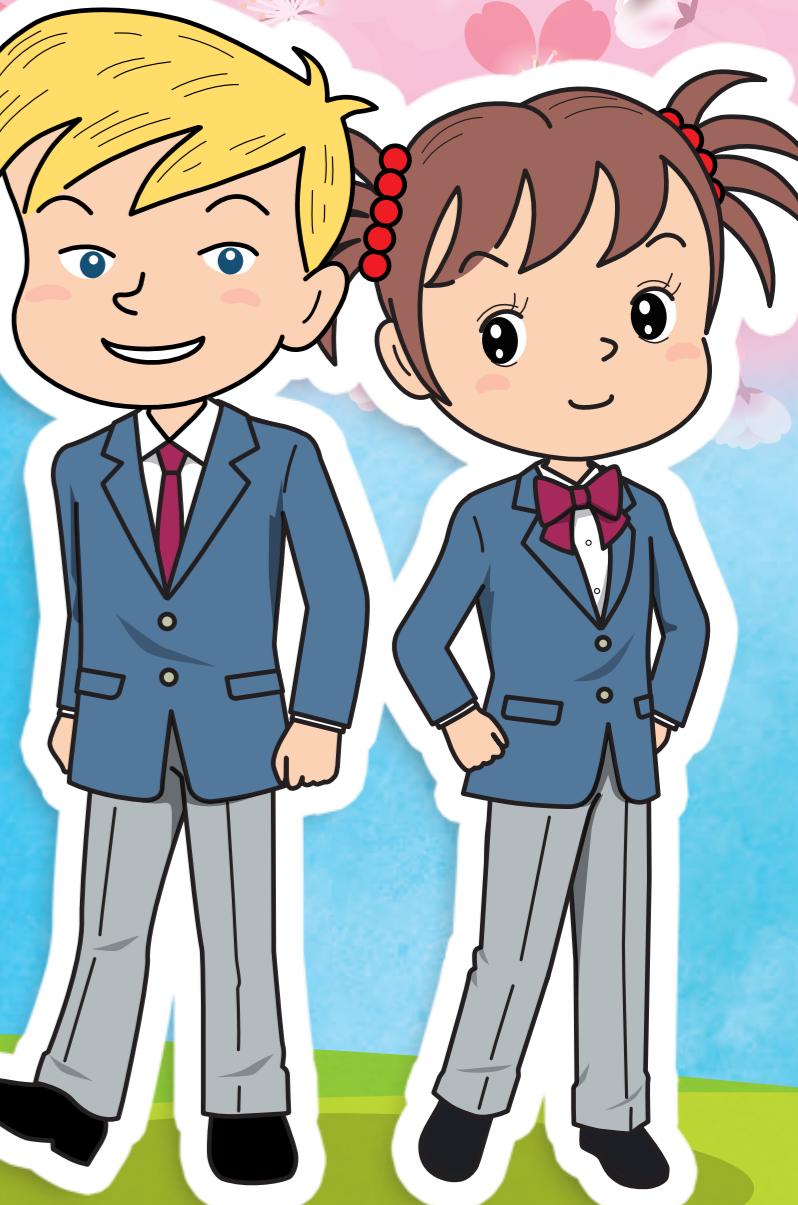
戦争中、男子は「国民服」を着るように定められて、学生服の代わりになったよ。女子はゆったりとしたズボン「もんべ」をはいたよ。



昭和後期

ブレザー
が登場

スーツのような学生服だよ。当時は紺色で無地のものが多くなったんだ。



2 海外の学校にも学生服はあるの?

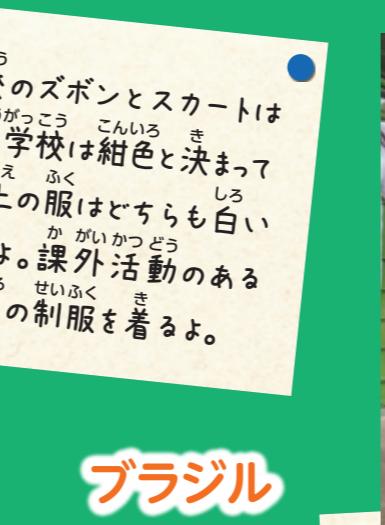
日本のほかにも、学生服を着ている国があるよ。イギリスや韓国は今の日本と同じようにブレザーが多いんだ。そのほかの国は特徴的な学生服を見てみよう。

ヨーロッパや
北アメリカは、私服の
学校が多いよ。

民族衣装を学生服として着てるよ。男子用は「ゴ」、女子用は「キラ」と呼ばれるよ。



インドネシア



小学校

中学校

課外活動のある日

ブラジル

